

かごしまの教育

No.79 令和2年12月

広報紙「かごしまの教育」について、皆さんの御意見・御感想をお聞かせください。



QRコードからアンケートページにアクセスできます。

夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり 鹿児島県教育委員会

鹿児島県教育委員会ホームページURL <http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>

進む教育の情報化 かごしま「GIGAスクール構想」の実現

※Global and Innovation Gateway for Allの略

最近、「GIGAスクール構想」という言葉をよく耳にしませんか。「GIGAスクール構想」とは、全国の義務教育課程（小・中学校）の子どもたちに1人1台の端末と、学校における高速大容量のネットワーク環境を整備する計画です。このことによって、これまでの学校における教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適な学びの機会を確保し、子どもたちの資質・能力が一層確実に育成できる教育環境の実現を目指しています。

このことを受け、県では、公立の小・中・高等学校、特別支援学校のネットワーク環境と、公立の義務教育課程と特別支援学校においては1人1台、県立の高等学校においては3人に1台の端末の整備を進めており、令和2年度中に概ね全ての学校への整備が完了する見込みです。

例えば、このように
学びが変わります

()内は写真提供校等

← A I教材を活用して個人の理解状況に適した問題に取り組む学習（奄美市立小宿中学校）
《県教委事業「A I教材の活用と教師の指導力向上に関する検証事業」》
※出水市、志布志市、奄美市の中学校3校で実施中



↑ 一人一人が情報を検索し、取捨選択しながら学びを深めたり、発信したりする学習（鹿児島市立伊敷中学校）

教科の学びをつなぐ
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現に活かす



↑ 専用ソフトを活用し、多様な意見に即時に触れさせながら、対話的な学びを充実させる学習（徳之島町立母間小学校）

教科の学びを深める
教科の学びの本質に迫る



→ タブレットを活用した自らの疑問について深く調べる学習や、個人の理解度に応じた進捗で行う学習（県立鹿児島中央高等学校）

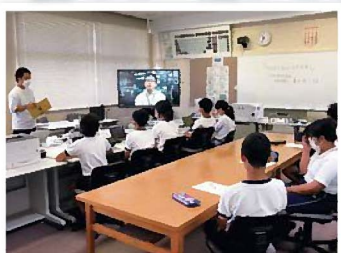


↑ 遠隔システムを使い、離島の学校と本土のALTとをつなぎ、ネイティブの発音を学ぶ学習（三島村教育委員会）



↑ 演技、動作を撮影した動画や写真をお互いに見ながら、演技や動作のコツなどを学び合う学習（喜界町立早町小学校）

“すぐにでも” “どの教科でも”
“誰でも” 活かせる1人1台端末



↑ 遠隔システムを使って、専門家に直接話を聞いて学びを深める調べ学習（日置市立永吉小学校）



↑ タブレットを活用した生徒同士による意見交換など、お互いを高め合う学習（県教委主催R元「夏トライ！グレードアップ・ゼミ」）



↑ タブレットに接続したスイッチ等を操作して主体的に学ぶなど、児童生徒の特性に応じた学習（県立牧之原養護学校）



↑ 学校での授業とつながることで学んだことの理解や習熟がさらに深まる家庭学習（徳之島町立山小学校）

端末を活用した
授業はいつから？



《市町村立小・中学校，義務教育学校》

令和3年1月～
各市町村で端末整備開始

3月末

各市町村の端末整備概ね完了

《県立中・高等学校，特別支援学校》

令和2年9月～
端末整備開始

令和3年3月末

県立高等学校で3人に1台、県立中学校・特別支援学校で1人1台の端末整備が完了

令和3年4月～ 整備済みの端末を活用した学習スタート!!

新型コロナウイルス感染症の「大切な人」を守るために 感染拡大で不安な今こそ...

今、新型コロナウイルス感染症に関連した差別や人権問題が身近なところで起きています。なぜ、こんなことが起きてしまうのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症には、第1の顔「病気」、第2の顔「不安」、第3の顔「差別」という3つの「こわい顔」があります。

第1の顔「病気」が第2の顔「不安」を呼び、「不安」が第3の顔「差別」を生みます。そして、「差別」は人々の治療を遅らせ、更なる「病気」の拡散へとつながっていきます。

★力を合わせて立ち向かおう！

感染への不安感などから、「感染した個人や学校を特定して非難したり、感染しているのではないかと疑って悪口を言ったりする」等の差別につながる言動はありませんか。

子どもは、保護者の言動をよく見ています。感染者等に対する差別や偏見、誹謗中傷等に同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげてください。みんなの勇気は、ウイルスに立ち向かう力になります。

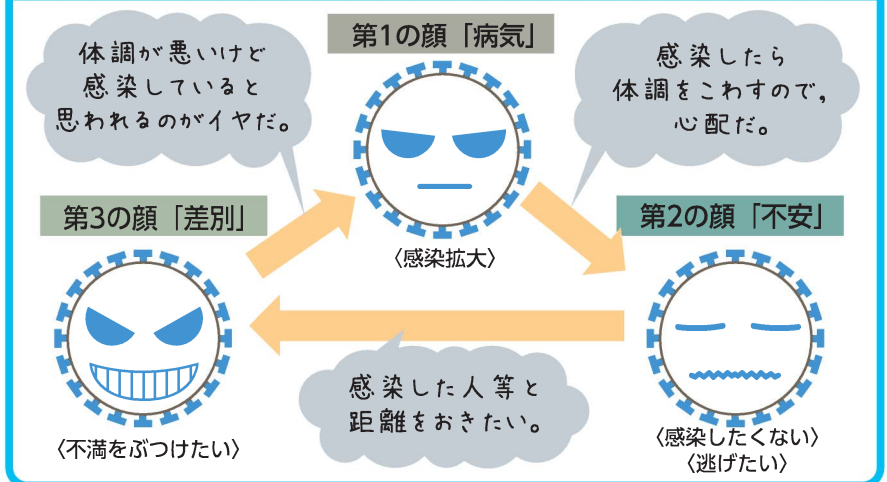


★不安を少しでも和らげるために

ウイルスに関する悪い情報ばかりに注意が向いていたり、何かとウイルスに結びつけて考えたりしていませんか。

新型コロナウイルス感染症に対する不安感を言葉にして、誰かに伝えてみると、不安な気持ちは和らぎます。

新型コロナウイルス感染症には、3つの「こわい顔」がある



病気に対する不安は差別を生み、さらに病気を拡大させます！

不安やこわがる気持ち・ストレスから、「いじめ・偏見・差別」が生まれるのを止めることが大切です。

- ★「確認しよう」...その噂や書き込みは正しい情報なのか確かめる。
- ★「想像しよう」...自分の言動によって、相手はどんな気持ちになるのかを考える。
- ★「感謝しよう」...感染拡大防止や社会を支えるために、毎日頑張っている人がいることを理解する。



3つの「こわい顔」にみんなで力を合わせて立ち向かうことは自分やまわりの人を大切にすることにつながります！

☆県教育委員会のホームページにも掲載されています。ぜひ、活用ください。

新型コロナウイルス感染症に負けないために

○コロナ相談かごしま

099-833-3221

○かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (固定電話専用フリーダイヤル)

099-294-2200

相談窓口



○24時間子供SNS相談窓口・通報窓口

<https://bit.ly/2MHqdBb>



LINE用

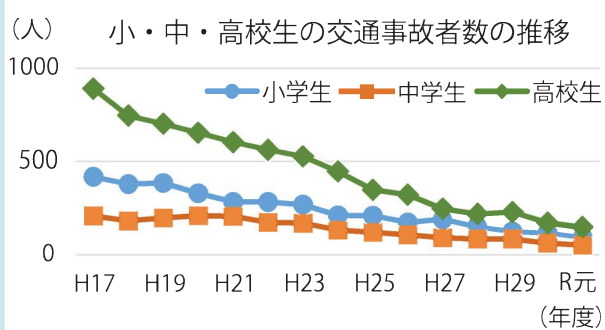


WEB用



交通事故0を目指して！

下のグラフは、ここ15年間の本県の小学生・中学生・高校生の交通事故者数の推移を表したものです。年々減少傾向にあり、15年前と比較すると、およそ5分の1に減少しています。(平成17年度：1517人、令和元年度：297人)



今後も各学校や家庭、地域で子どもたちを交通事故から守る取組を推進していただくようお願いします。

※自転車の乗車については、県の条例や道路交通法施行細則等のように定められています。

- ・自転車利用者の損害賠償保険等への加入義務
- ・保護者は、幼児、児童又は生徒(中学生以下)に乗車用ヘルメットを着用させる義務
- ・乗車中の傘差し、携帯電話、イヤホン等の使用禁止

◇多いのは、こんな事故です！

- ・小学生→歩行中・道路横断中
- ・中学生→自転車乗車中
- ・高校生→自転車乗車中、原付乗車中



大学等奨学金返還支援制度



～鹿児島で働く人を応援します!!～

奨学金を借りて大学などを卒業後、県内に居住し、本県の発展に寄与する産業分野に就業した場合に、奨学金の返還を支援する制度です。

【人材育成枠】(70人)

- ・大学、短期大学、専修学校(2年課程)に進学する高校3年生など

【地域活性化枠】(30人)

- ・令和4年3月に、大学又は大学院を卒業(修了)予定の学生
- ・現在、県外で働いているが、一定期間内に本県の企業などに就業する社会人(Uターン)



地域活性化枠のみ
現在募集中!!



募集要項など詳しくは、で

☎099-286-5244

令和2年度県特別支援学校技能検定を開催します！

県教育委員会では、特別支援学校高等部生徒の職業自立に向けた意欲や能力の向上を図るための事業の一環として「特別支援学校技能検定」を毎年実施し、今年度で第6回を迎えます。

技能検定は、清掃部門と喫茶サービス部門の検定があり、難易度に応じて、プロフェッショナル、チャレンジ、ビギナーの三つのコースが設定され、毎年多くの生徒が日頃の学習の成果を発揮できる場となっています。級位認定を受けた多くの生徒は、卒業後、企業就労や福祉就労の場で社会人として立派に活躍しています。このような特別支援学校の取組を多くの方に知っていただき、特別支援教育や障害のある生徒への理解が更に深まっていくことを期待しています。



【日時】令和2年12月25日(金)
午前9時から午後4時まで
※時間は受検者数により変更の可能性があります。

【場所】県総合教育センター
※今年度は新型コロナウイルス感染症への対策として、一般の参観については事前申込みとなります。詳しくは、県教育委員会のHP上で御確認ください。

2023かごしま総文 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会

～ 大会基本方針「**つむぐ・キバる・輝く**」～

令和5年夏、高校生の高校生による国内最大の芸術文化の祭典が鹿児島で行われます。約2万人の高校生が全国から集う「文化部のインターハイ」。昭和52年からスタートし、鹿児島大会で第47回目を迎え、全都道府県での開催が一巡することから、本大会はその記念大会となります。各部門大会では競技、演奏、鑑賞だけでなく、生徒間の交流も行われ、地元の高校生が企画から運営まで主体的に取り組みます。

募集して
います!!

マスコットキャラクター原画
イメージソング (歌詞)

大会テーマが決定!
「47の結晶 **いぶき 桜島の気噴にのせ** **つむぎ 文化の1ページ**」

令和2年7月から8月にかけて、中高生を対象に募集した大会テーマが決定しました!

現在、この大会テーマを踏まえ、大会マスコットキャラクター(令和3年1月12日締切)やイメージソング(歌詞)(令和3年2月19日締切)を募集しています。

詳しくは各学校配布のチラシ、または県教育委員会のHP(全国高等学校総合文化祭鹿児島大会)を御覧ください。



令和2年度 生徒準備委員会



総合開会式(こうち総文)

【主な開催部門】

合唱、日本音楽、吹奏楽、器楽・管弦楽、書道、美術・工芸、写真、放送、弁論、小倉百人一首かるた、吟詠剣詩舞、郷土芸能、文芸、囲碁、将棋、新聞、演劇、自然科学、マーチングバンド・バトントワリング



パレード(さが総文)

この冬は近くの日本遺産へ GO TO JAPAN HERITAGE!!

昨年5月に日本遺産に認定された「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」。主要な構成文化財である鹿児島城跡や各麓、その周辺では当時を感じさせる大小の景観があり、鹿児島独自の文化に触れることができます。

現在、武家屋敷群「麓」を巡る「薩摩十二麓スタンプラリー」を実施中です。この機会に、身近にある地域の魅力を再発見する小さな旅に出かけませんか。

【開催期間】2020年11月1日(日)～2021年1月31日(日)

【スタンプラリー実施場所】

鹿児島城跡、喜入旧麓、出水麓、垂水麓、入来麓、里麓、手打麓、串木野麓、加世田麓、志布志麓、知覧麓、蒲生麓

【方 法】

- ①各麓に設置された日本遺産コーナー等で専用のパンフレットを入手します。
 - ②各麓を訪れ、日本遺産コーナーにあるスタンプをパンフレットに押し、麓に応じた石高ポイントを集めます。
 - ③集めた石高ポイントに応じた賞品が設定されており、パンフレットに付属している応募はがきを投函することで応募できます。後は抽選結果を楽しみに待つだけです。
- また、麓を3か所以上巡ると、もれなくオリジナル缶バッジをプレゼントします。

※詳しくはホームページを御覧ください。URL:<http://www.pref.kagoshima.jp/ba08/nihonisan/stamprary2.html>



日本遺産「薩摩の武士が生きた町」をめぐるスタンプラリー

薩摩十二麓

～すべての麓を制覇せよ～

日本遺産「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」の開催期間中に実施される「薩摩の武士が生きた町」の魅力を伝えるためのスタンプラリーです。各麓を訪れ、スタンプを押して、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」の魅力を伝えることができます。

開催期間
2020年11月1日(日)～2021年1月31日(日)

攻略!
スタンプは全部で12箇所

目指せ七十七万!
応募方法

1. 県内各地に置かれているスタンプラリー用台紙付きパンフレットを入手
2. 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」のコーナーをめぐり
3. 各麓周辺に設置されているスタンプをパンフレットとハガキへ押し
4. 集めた石高ポイントに応じて欲しい賞品に応募

すべての麓のスタンプを集めると七十七万石がたまりまます!

<p>御徳門麓 七十七万石</p> <p>(1) 薩摩藩御徳門麓(2F)</p> <p>A. 鹿児島県産年一白インスターチ</p> <p>B. 薩摩藩御徳門麓(2F)</p>	<p>志布志麓 五十五万石</p> <p>(1) 薩摩藩志布志(2F)</p> <p>A. 薩摩藩志布志まんじゅう</p> <p>B. 薩摩藩志布志まんじゅう</p>	<p>知覧麓 四十万石</p> <p>(1) 薩摩藩知覧(2F)</p> <p>A. さつまあげセット</p> <p>B. 薩摩藩知覧まんじゅう</p>
--	--	---

主催：日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会

【問合せ】日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会(県教育庁文化財課内) ☎099-286-5357

これならできる! 「プラス5分運動」

合い言葉は「プラスふあいぶ〜!」

毎年、全ての小学5年生と中学2年生を対象に行われている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、本県の児童生徒の体力合計点は、全国平均と比べると、ここ数年若干低い状況が続いています。また、1週間の総運動時間についても、全国と同様、2年連続で減少しています。

このような児童生徒の現状を踏まえ、県教育委員会では、リーフレット「これならできる! 『プラス5分運動』」を作成し、県内全ての小学生に配布しました。掲載されている運動は、みんなが知っていて、取り組みやすい運動ばかりです。現在のコロナ禍においても、感染対策を講じつつ、学校や家庭で、子どもたち一人一人が楽しく運動に取り組むことで望ましい運動習慣等を身に付け、結果として体力の向上につながっていくことを期待しています。

【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(体力合計点)の結果】

対象児童生徒	令和元年度		平成30年度		平成29年度		
	本県(点)	全国(点)	本県(点)	全国(点)	本県(点)	全国(点)	
小学5年	男子	52.57	53.61	53.23	54.21	53.13	54.16
	女子	54.87	55.59	55.00	55.90	54.57	55.72
中学2年	男子	40.32	41.69	40.88	42.32	41.24	41.96
	女子	49.03	50.22	49.40	50.61	49.16	49.80

※体力合計点(8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した得点)

1人で出来る!

※挑戦したらチェック☑してみましょう。

- 坂道の大股歩行
- 階段の上り下り
- 壁けんすい
- いすの立ち座り
- ブリッジ
- ジョギング
- なわとび
- 柔軟体操
- 体幹トレーニング①
- 体幹トレーニング③
- 一輪車
- フラフープ
- ぶら下がり
- スクワット
- バランス
- 腕立て
- V字腹筋
- 鉄棒(補助あり)
- 鉄棒(補助なし)

友達 家族 といっしょに!

- 遊具
- サッカー
- キャッチボール
- 体操・ストレッチ
- ウォーキング

☆県教育委員会のホームページにも掲載されています。ぜひ、活用ください。

これならできる! 「プラス5分運動」

〜「1日20分読書」運動〜心に残る1冊の本との出会い〜

県教育委員会では「第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画」(平成30年12月)を策定し、子どもの読書活動の推進を図っています。特に推進のための方策として「発達段階に応じた取組」があります。この取組は、乳幼児期・小学生(低学年・中学年・高学年)期・中学生期・高校生期毎に、それぞれの発達段階の特徴に応じて継続的に読書活動の取組を展開し、学校種間の連携を図りながら推進できるよう策定しています。今回は、共感したり、感動したりできる本を選び、多様な読書を目指すことにつながるきっかけづくりを目的とした「ビブリオバトル(書評合戦)」「発達段階に応じたブックリスト」を紹介します。



ビブリオバトルは、平成19年に京都大学から広まった読書活動で「知的書評合戦」とも呼ばれています。現在、全国に広がりを見せており、県内の学校や公共図書館等でも取組が増えていきます。

☆ビブリオバトルのルール

- 発表者が他の人に薦めたい本の魅力を5分間で紹介します。
- 紹介後、発表者と観戦者は、その発表に関して2分間の意見交換を行います。
- すべての発表が終了後、どの本を一番読みたくなったか観戦者の多数決で決定し、チャンプ本が決まります。

☆ビブリオバトルの効果

- ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができます。
- 自ら本を選ぶ力、語る力が育ちます。
- 読んでみたいと思える本に出会える機会が増えます。

☆発達段階に応じたブックリスト(県立図書館から発行)

にじいろのほん

子どもが大人になるまでに読んでもらいたい本を発達段階に分けて紹介しています。

鹿児島の高校生が薦める本

県内の高校生が、同年代や中学生に薦めたい本を紹介しています。

こどもの本 - 児童図書モデルリスト

県立図書館職員が選定したお薦めの本を、幼児・小学生(低学年、中学年、高学年)・中学生・指導者に分けて紹介しています。

※以下のQRコードから県立図書館HPにアクセスできます。

詳しくは、県立図書館ホームページから御覧いただけます。【URL: www.library.pref.kagoshima.jp】

県有施設に無料で入場できます!

県内在住の小・中・高校生(18歳以下)は土・日・祝日は県有施設(常設展のみ)に無料で入場できます。

〈対象施設〉

- ・歴史・美術センター黎明館
- ・県立博物館プラネタリウム
- ・屋久島環境文化村センター
- ・奄美パーク
- ・霧島アートの森
- ・フラワーパークかごしま
- ・上野原縄文の森